

歯科医師会等の関係機関が連携し、離島医療圏の歯科医師の確保に努めるほか、長崎大学病院から離島の拠点病院への歯科医師の派遣も検討します<sup>1</sup>。

1 「第7章第2節歯科医師」をご覧ください。

### (3) 離島・へき地の救急搬送体制の整備

救急搬送にかかわる関係機関が連携し、ヘリコプターの有効かつ効果的な運航を行い、さらに海上自衛隊・海上保安部とも連携しながら、救急搬送体制の充実に努めます。

「遠隔画像診断支援システム」については、情報通信技術の向上も踏まえ、モバイル端末の導入等の機能向上を図りながら、適切な時期に更新を行います。

## 4. 成果と指標

### (1) 成果と指標

施策の成果	指標	直近の実績	(目標) 2029年
離島の医療機関における医師を確保すること	離島の病院等に勤務する医師数	230 (2022年)	230
離島の二次救急医療体制を維持すること	離島の二次救急を担う医療機関数	9 (2022年)	9
離島へき地における医師数増加	離島と本土との医師数格差縮小	1.61 (2022年)	1.49
良質かつ適切なへき地医療提供体制の構築	へき地医療拠点病院の中で主要3事業の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合	87.5% (7病院) (2022年)	100% (8病院)
	へき地医療拠点病院の中でへき地医療拠点病院の必須事業の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合	100% (8病院) (2022年)	100% (8病院)
	遠隔医療を実施するへき地医療拠点病院数	0 (2022年)	8

### 2) 指標の説明

指標	説明
離島の病院等に勤務する医師数	離島の病院等に勤務する医師数を増加させます。 出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」
離島の二次救急を担う医療機関数	現行の救急告示医療機関数を維持します。 出典：県の医療政策課調べ
離島と本土との医師数格差縮小	離島と本土との医師数格差を1.5倍未満に縮小します。 出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

<p>へき地医療拠点病院の中で主要 3 事業の年間実績が合算で 12 回以上の医療機関の割合</p>	<p>へき地医療拠点病院の中で主要 3 事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）の年間実績が合算で 12 回以上の医療機関の割合を増加させます。 出典：へき地医療現況調査（厚生労働省）</p>
<p>へき地医療拠点病院の中でへき地医療拠点病院の必須事業の実施回数が年間 1 回以上の医療機関の割合</p>	<p>へき地医療拠点病院の中でへき地医療拠点病院の必須事業の実施回数が年間 1 回以上の医療機関の割合を増加させます。 出典：へき地医療現況調査（厚生労働省）</p>
<p>遠隔医療を実施するへき地医療拠点病院数</p>	<p>遠隔医療を実施するへき地医療拠点病院数を増加させます。 出典：へき地医療現況調査（厚生労働省）</p>